

# 平成26年度予算編成方針について

## 1 日本経済の状況及び国の動向

- ・ 国の月例経済報告によると「景気は緩やかに回復しつつある」。
- ・ 国は「経済財政運営と改革の基本」を策定し、財政健全化のための取組内容を具体化した「中期財政計画」においては、相互に補強しあう「三本の矢」を一体化することにより生まれる推進力により、民需主導の持続的成長の実現を目指す。

## 2 さいたま市の財政状況及び今後の財政見通し

- ・ 政令指定都市に移行して10年経過し、125万人を超える大都市に成長。
- ・ 健全財政を堅持しているが、社会保障費等の増加により、財政は硬直化。
- ・ 中期財政収支見通しの結果、平成26年度の財源不足は321億円。  
( ※ 平成25年8月集計時点 )

## 3 予算編成の基本方針

平成26年度予算は「しあわせ実感都市」を実現するための「しあわせ倍増プラン2013」と、「選ばれる都市」を実現するための「成長戦略」を推進することにより、市民がしあわせを実感し、本市が東日本の中枢都市として一層の発展を目指すとともに、新たにスタートする総合振興計画「次期基本計画」及び「次期実施計画」を推進する予算を編成する。

また、施策の実効性を担保するため、コストの検証及び手法の精査等を徹底し、適切な予算を措置するとともに、従来実施してきた事業についても事業の在り方を改めて検証し、限られた財源をいかに効率的・効果的に配分するか、慎重かつ大胆な見直しを行うこととする。

- (1) 新たな施策等の積極展開
- (2) 事業見直しによる財源の捻出
- (3) 公共施設マネジメント計画の推進
- (4) 歳入の的確な確保及び新たな財源の創出
- (5) 国の動向の的確な把握と対応